

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤギ
 コード番号 7460 URL <http://www.yaginet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八木 秀夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 三浦 明石

TEL 06-6266-7332

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	86,420	△6.3	2,642	65.6	3,202	45.8	2,048	82.9
26年3月期第3四半期	92,273	6.6	1,595	△44.6	2,196	△26.7	1,119	△32.1

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 3,101百万円 (54.8%) 26年3月期第3四半期 2,003百万円 (5.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	243.87	—
26年3月期第3四半期	133.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	64,968	30,353	46.7
26年3月期	54,108	27,436	50.7

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 30,348百万円 26年3月期 27,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	△7.5	3,300	96.8	3,300	35.8	2,110	71.2	251.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	10,568,000 株	26年3月期	10,568,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	2,169,255 株	26年3月期	2,169,228 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	8,398,756 株	26年3月期3Q	8,398,824 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表規則」に従い作成しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府が推し進める積極的な経済政策、金融緩和を受け、雇用環境の改善や輸出関連企業を中心に収益の改善が見られるなど緩やかな回復基調が続いております。しかし、円安による輸入コストの上昇や、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により個人消費に弱さが見られ、米国経済は企業収益の改善や個人消費の健全な推移により回復基調にあるものの、中国の成長鈍化など海外景気の下振れが、引き続きわが国の景気を下押しするリスクとなり、楽観視できない状況にあります。

繊維業界におきましても、消費税率引上げによる消費マインドへの影響と、夏場の天候不順にはじまり豪雨や大型台風の上陸が重なることでの販売不振、また海外での人件費の上昇に加え円安に拍車がかかることによる輸入コストの上昇など、以前より増して非常に厳しい環境の下、苦戦を強いられております。

このような状況の下、当社グループでは中期経営計画「Value Innovation 123」の初年度にあたり、重点施策である「中核事業の高収益化」「海外事業の拡大・新規事業の強化」「経営管理体制の高度化」を進めております。そのために差別化商材の供給力を強化し、優良取引先との取り組み深耕に注力し、また、香港を核にアセアン地域に縫製拠点を構築することで、繊維二次製品事業の拡大を目指すAGP（アセアン・ゲートウェイ・プロジェクト）と、タイを拠点にアセアン地域にテキスタイルの供給体制を確立するATC（アセアン・テキスタイル・コンバーティング）の両プロジェクトを進行させ海外事業の拡大に努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は86,420百万円（前年同期比6.3%減）、営業利益は2,642百万円（前年同期比65.6%増）、経常利益は3,202百万円（前年同期比45.8%増）、四半期純利益は2,048百万円（前年同期比82.9%増）となりました。

なお、事業セグメント別の売上高の状況は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	前第3四半期累計期間 平成26年3月期 百万円	当第3四半期累計期間 平成27年3月期 百万円	増減率 %
繊維セグメント			
原料分野	14,491	14,563	0.5
テキスタイル分野	11,250	10,825	△3.8
繊維二次製品分野	64,255	58,108	△9.6
その他	2,008	2,632	31.1
繊維セグメント 合計	92,005	86,130	△6.4
不動産セグメント	268	289	8.1
合計	92,273	86,420	△6.3

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ8,389百万円増加し、50,145百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2,471百万円増加し、14,823百万円となりました。これは、㈱リースアンドバウンズの株式取得により、のれんが発生したことが主な要因であります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ7,370百万円増加し、26,679百万円となりました。これは、短期借入金が増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ572百万円増加し、7,936百万円となりました。これは、長期借入金が増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2,916百万円増加し、30,353百万円となりました。これは、四半期純利益が2,048百万円計上されたことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結の業績予想に関しましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況を勘案し、平成26年5月12日に公表しました予想数値に対して、以下のとおり修正いたします。

通期の連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	120,000	3,300	3,200	2,050	244円08銭
今回修正予想 (B)	111,000	3,300	3,300	2,110	251円23銭
増減額(B-A)	△9,000	—	100	60	—
増減率(%)	△7.5%	—	3.1%	2.9%	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	120,010	1,676	2,430	1,232	146円73銭

第3四半期連結累計期間において、原料分野では、北米市場の好調を受け輸出が安定したこと、繊維二次製品分野では、円安によるコストアップで収益確保に苦戦するなかで販売管理費等の削減に尽力することで、経常利益に関しては前回発表予想の3,200百万円を上回ったため、これを踏まえ通期の業績予想を修正いたします。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が185百万円増加、退職給付に係る負債が116百万円減少し、利益剰余金が193百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ10百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,360,085	2,986,847
受取手形及び売掛金	29,744,503	34,320,642
電子記録債権	279,803	3,230,664
有価証券	223,445	223,470
たな卸資産	6,632,173	6,834,374
繰延税金資産	691,084	439,322
その他	947,594	2,260,159
貸倒引当金	△121,914	△149,702
流動資産合計	41,756,776	50,145,778
固定資産		
有形固定資産	4,518,857	4,426,143
無形固定資産		
のれん	-	1,216,898
その他	8,474	12,704
無形固定資産合計	8,474	1,229,602
投資その他の資産		
投資有価証券	6,108,187	7,060,605
その他	1,935,926	2,322,356
貸倒引当金	△219,453	△215,561
投資その他の資産合計	7,824,660	9,167,400
固定資産合計	12,351,992	14,823,146
資産合計	54,108,769	64,968,924
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,681,518	12,795,695
電子記録債務	856,584	826,350
短期借入金	2,361,589	6,943,329
未払法人税等	578,175	634,066
引当金	628,767	494,669
その他	3,201,704	4,985,206
流動負債合計	19,308,340	26,679,317
固定負債		
長期借入金	4,200,000	4,620,220
繰延税金負債	527,002	945,895
引当金	90,686	65,751
退職給付に係る負債	1,027,925	922,181
その他	1,518,711	1,382,531
固定負債合計	7,364,326	7,936,580
負債合計	26,672,666	34,615,898

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,088,000	1,088,000
資本剰余金	805,188	805,188
利益剰余金	25,599,293	27,463,001
自己株式	△1,629,404	△1,629,445
株主資本合計	25,863,077	27,726,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,673,837	2,174,051
繰延ヘッジ損益	106,249	583,065
為替換算調整勘定	△6,770	3,266
退職給付に係る調整累計額	△204,957	△138,732
その他の包括利益累計額合計	1,568,359	2,621,651
少数株主持分	4,665	4,630
純資産合計	27,436,102	30,353,026
負債純資産合計	54,108,769	64,968,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	92,273,368	86,420,459
売上原価	82,288,210	75,693,491
売上総利益	9,985,158	10,726,967
販売費及び一般管理費	8,389,345	8,084,710
営業利益	1,595,812	2,642,256
営業外収益		
受取利息	11,129	14,622
受取配当金	131,337	132,870
持分法による投資利益	-	127,696
為替差益	586,441	333,281
その他	30,555	53,401
営業外収益合計	759,463	661,872
営業外費用		
支払利息	39,851	38,993
売上割引	46,396	20,276
貸倒引当金繰入額	66,871	30,922
その他	5,644	11,217
営業外費用合計	158,763	101,409
経常利益	2,196,512	3,202,719
特別利益		
関係会社株式売却益	42,522	-
特別利益合計	42,522	-
特別損失		
関係会社株式売却損	93,720	-
関係会社出資金評価損	52,500	-
出資金評価損	-	22,266
貸倒損失	211,576	-
特別損失合計	357,796	22,266
税金等調整前四半期純利益	1,881,237	3,180,452
法人税等	761,762	1,132,253
少数株主損益調整前四半期純利益	1,119,475	2,048,199
少数株主損失(△)	△125	△40
四半期純利益	1,119,600	2,048,240

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,119,475	2,048,199
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	751,797	500,219
繰延ヘッジ損益	104,049	476,815
為替換算調整勘定	27,746	10,037
退職給付に係る調整額	-	66,224
その他の包括利益合計	883,594	1,053,297
四半期包括利益	2,003,069	3,101,497
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,003,186	3,101,532
少数株主に係る四半期包括利益	△117	△35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。